あきる野市

がん検診

令和7年度
受診案内

～申込み期限～
6月20日(金)
(期限厳守・消印有効)

『1年に1回』受診しましょう！

※乳・子宮がん検診は２年に１回の受診が推奨されているため、２年に１回受診しましょう。

土曜・日曜受診OK！

平日はもちろん、土日の検診も実施しています。※検診会場により異なります。

家族・友人と一緒に受診！

家族や友人と、同じ検診日・時間に受診できる≪グループ検診≫を実施しています。※要申込み

小さなお子様あずかります

受診中にお子様をお預かりする、≪一時保育サービス≫を実施しています。※要申込み

大腸がん検診代理提出

検診会場に行けない方の検査キットを、代理の方が提出できます。

１日でまとめて受診！

胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん検診をまとめて受診できる、≪がんセット検診≫を実施しています。※検診会場により異なります。

がんは早期発見・早期治療することが大切です。継続して検診を受診し、体の変化に早く気付けるようにしましょう。
また、症状がある場合は、市の検診を待たずに、医療機関を受診してください。

04 大腸がん検診・前立腺がん検診を医療機関でも

市内指定医療機関で受診できます！

５月７日（水）から10月31日（金）まで、市内指定医療機関（右表）で大腸がん検診及び前立腺がん検診を受診することができます。**受診できるのは、それぞれ年１回です。**
希望される方は、直接、医療機関にお申し込みください。

特定健診・後期高齢者健診を受診される方へ

特定健診・後期高齢者健診（下表参照）と同時に大腸がん・前立腺がん検診を受診できます。希望される方は、健診を申し込む際に、医療機関にお問い合わせください。

	対象者	健診期間
特定健診	国民健康保険加入者	５月７日から10月31日まで
後期高齢者健診	後期高齢者医療制度加入者	６月１日から10月31日まで

※１　なかのやUクリニックは、前立腺がん検診のみ実施しています（特定健診・後期高齢者健診は実施していません。）。

※２　あきる台病院、近藤医院、さくらクリニック、樋口クリニック及びまつむらこどもクリニックでは、特定健診・後期高齢者健診と同時受診の場合のみ実施しています（単独での受診はできません。）。

市内指定医療機関		電話番号
あきる台病院	※2	559-5449
あきる野総合クリニック		518-2088
あきるの内科クリニック		558-5850
あきるの杜きずなクリニック		596-6736
あべクリニック		558-7730
いなメディカルクリニック		596-0881
草花クリニック		558-7127
公立阿伎留医療センター		558-0321
小机クリニック		596-3908
近藤医院	※2	558-0506
櫻井病院		558-7007
さくらクリニック	※2	559-0118
佐藤内科循環器科クリニック		550-7831
朱膳寺内科クリニック		559-9201
鈴木内科		596-2307
瀬戸岡医院		558-3930
なかのやUクリニック	※1	550-1156
葉山医院		558-0543
樋口クリニック	※2	559-8122
星野小児科内科クリニック		559-7332
まつむらこどもクリニック	※2	559-3322
米山医院		558-9131

05 がん検診について

【がん検診とは】
※詳しくは市ホームページに掲載してありますので、QRコードからご覧ください。
（市ホームページ）

がん検診の情報提供について

市ホームページでは、がん検診の情報提供をしています。がんという病気、予防や検診の情報について、掲載していますのでご覧ください。また、申込みの際の電子申請（QRコード）や申込書についても掲載していますのでご利用ください。

検診を受診するときの注意事項について

発熱、咳、くしゃみ、強いだるさ（倦怠感）などがある場合は、検診は受診せず、検診日を変更するなど、感染症予防対策にご協力をお願いします。

申込・問合せ先
〒197-0814　あきる野市二宮350番地
あきる野市　健康課　健康づくり係　電話（042）558－1183

01がん検診の種類

検診会場や時間帯は、別紙「令和７年度がん検診日程表」で確認してください。

種類	対象	検診の内容	費用	対象とならない方
胃がん	40歳以上の方 (昭和61年4月1日以前生まれの方)	問診、バリウム投与による胃部エックス線検査	500円	妊娠中の方(可能性のある方)、消化管の閉塞又はその疑いのある方、以前にバリウムを飲んで過敏症が出た方、撮影技師の言葉かけで体を動かすことができない方、発泡剤・バリウムを自分で飲めない方など
大腸がん		問診、検便(免疫便潜血検査2日法)	200円	月経中の方など
肺がん		問診、胸部エックス線検査、喀痰細胞診検査(喫煙指数などが該当する場合)	500円	妊娠中の方(可能性のある方)など
乳がん		問診、乳房エックス線(マンモグラフィ)検査	1,000円	前年度に市の乳がん検診を受診した方、妊娠中の方(可能性のある方)、授乳中の方、断乳後6か月以内の方、心臓にペースメーカーを装着している方、乳房内に人工物が入っている方、胸部外傷で治療中の方、持続血糖測定器を使用している方など
子宮頸がん	20歳以上の女性 (平成18年4月1日以前生まれの女性)	問診、視診、内診、頸部細胞診検査	500円	前年度に市の子宮頸がん検診を受診した方、月経中の方、子宮の手術(子宮全摘出)を受けた方など
前立腺がん	50歳以上の男性 (昭和51年4月1日以前生まれの男性)	採血によるPSA(前立腺特異抗原)検査	300円	脱毛治療薬(プロペシア錠)を服用している方

車椅子を利用している方や介助を必要とする方を対象に、受診方法の相談・調整を受付しています。
希望される方は、申込書の所定欄に記入してください。

★注意事項★

※あきる野市内在住の方が対象です。
※年齢は、令和8年(来年)4月1日時点の年齢です。
※職場等で同様の検診を受ける機会のある方はそちらを優先してください。
※乳・子宮がん検診は、「国の指針」により2年に1回の受診となります。
※受診部位の手術を受けた・治療中・経過観察中などの方は、主治医に許可を得た上で受診してください。

02がん検診受診の流れ

①申し込む　**※電話での申込みは受付していません。**

●申込書の場合(申込書配置場所:市役所1階ロビー、五日市出張所、こども家庭センター(6月20日(金)まで))
・**6月20日(金)(消印有効)まで**に必要事項を記入し、**郵送**してください。
※令和5年度か6年度のがん検診に申し込まれた方へは申込書を送付しています(住所や氏名などは当時のものを記載)。

●電子申請の場合
・**6月20日(金)まで**に市ホームページ(がん検診で検索)から申し込んでください。
☆スマートフォンから電子申請される場合は、右のQRコードからアクセスできます。

(電子申請)

②検診日・検診会場決定のお知らせを受け取る
・検診日、検診会場は、**8月中旬**にハガキでお知らせします。
※申込み状況により、必ずしもご希望通りの検診日、検診会場に決定するとは限りません。あらかじめご了承ください。

③問診票等を受け取る
・検診日の数日前に問診(受診)票と案内(受付時間・検診会場の地図・受診時の注意事項などを記載)をお送りします。

④がん検診を受診する
・送付された案内に従い、検診日に受診します。費用は受診日に検診会場の窓口でお支払いください。
※生活保護を受給されている方は、受診の際に「生活保護受給証明書」を提出すると費用の負担がありません。

⑤検診結果を受け取る
・検診結果は、2週間～1か月程度でお知らせします。

検診日・検診会場決定方法
・申込期限内に申し込まれた方の中から無作為抽出し、決定します**(申込み順ではありません)**。
・希望者多数により定員を超えた場合には、他の検診日、検診会場を市が指定します。
そのため、必ずしもご希望通りの検診日、検診会場に決定するとは限りません。
ご理解とご了承の上、お申し込みいただきますようお願いいたします。

03こんなときはどうする？

家族や友人と一緒に検診を受診したい！

家族や友人と、同じ検診日・同じ受付時間でがん検診を受診できます。
・郵送の場合は、１人１枚ずつ申込書を記入し、「同封」して郵送してください。
・電子申請の場合は、グループ全員がそれぞれ申込みし、かつそれぞれの所定欄に入力してください。

小さい子どもがいるけど検診を受診したい！

子ども連れの方が受診している間、保育士が子どもの遊び相手をする**「一時保育サービス」**があります。

実 施 日	日程表のとおり(あきる野保健相談所及び秋川ふれあいセンターの◎印のある検診日)
時間・定員	9時30分、10時、10時30分、11時の各受付時間あたり2人程度(定員を超えた場合は抽選)
対 象 児	満1歳(受診日当日)から未就学児まで
申込み方法	申込書又は電子申請の所定欄に記入してください。

検診結果が「要精密検査」になったら？

がん検診はがんの疑いがある方を見つけるためのものです。検診結果が「要精密検査」となったら、がんの有無を正確に確認するために、必ず精密検査を受診しましょう。

注意事項
・問診の結果などによっては、申し込んだ検診を受診できない場合があります。
・以前の検診で要精密検査となった方は再度同じ判定を受けることがあります。医師に相談して、申し込んでください。
・がん検診は、がんによる死亡率を減少させることが科学的に証明された有効な検診ですが、がんの場所によっては、検診では見つけづらかったり、がんでないのに要精密検査の結果が出てしまう場合があります。
・検診精度を高めることを目的として、検診結果が要精密検査となった方に精密検査の結果についてご報告を依頼することがあります。